

東証スタンダード市場・福証
証券コード：6998

決算補足説明資料

2024年3月期（2023年度） 第3四半期決算概要

2024年2月9日



はじめに

当社商品の概要

2024年3月期（2023年度）第3四半期業績概要

1. 今回発表のサマリー
2. 連結業績の概要
3. 主な経営指標
4. セグメント別の状況
5. 財務の状況（連結）
6. 今後の見通し

参考資料

1. 業績の推移（連結）

当社商品の概要

当社商品の概要

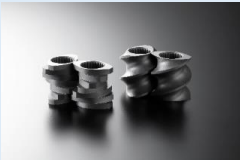
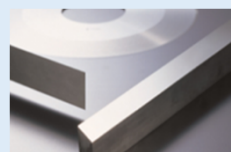
「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開

粉末冶金技術



当社商品の概要

4つのターゲット市場に、粉末冶金技術を生かした素材・商品群を提供

ターゲット市場	事業セグメント	
	機械部品事業	電機部品事業
半導体・電子部品市場	 ハードディスクドライブ(HDD) 用磁気ヘッド基板 世界 No. 1 シェア(当社調べ)	 プラズマ電極
自動車部品市場	 二軸押出機用部材 「MAZELLOY®」 (コンパウンド混錬機用) 新商品	 E Vリレー用接点  抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用)
産業用機器・部品市場	 産業用設備向け耐摩耗部材 液晶塗付用超硬長尺製品	 ブレーカー用電気接点
衛生用品機器 ・医療用部品市場	 N Tダイカッター 国内No.1・世界No.2シェア(当社調べ) 新素材を開発	 医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品
(新商品開発)	 遠紫外LED関連製品 当社と国立研究開発法人理化学研究所が、波長230ナノメートル (nm、1nmは10億分の1m) の遠紫外発光ダイオード(LED) 光源と、集積化による高出力光源モジュールを共同開発	



2024年3月期（2023年度） 第3四半期 業績概要

1. 今回発表のサマリー

2024年3月期（2023年度）第3四半期決算の総括

・当第3四半期の業績は、前年同四半期比で連結・個別ともに減収減益。

経済環境

- ・新型コロナウイルス感染症の収束による社会・経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移
- ・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりや、中国経済の減速による影響の懸念等もあり、先行きは依然として不透明な状況

ターゲット市場の概況

- | | |
|-----------------|--|
| ・産業用機器・部品市場 | ：一部で需要の低迷や在庫調整等あるものの、上期に納期が集中した商品もあったことから、増収 |
| ・半導体・電子部品市場 | ：データセンター等で使用されるハードディスクドライブの在庫過多が長期化しており、減収 |
| ・自動車部品市場 | ：自動車生産が回復する中で、在庫調整の解消までは至っておらず、減収 |
| ・衛生用品機器・医療用部品市場 | ：中国での需要減少の影響を受け、低調に推移 |

1. 今回発表のサマリー

今後の見通し

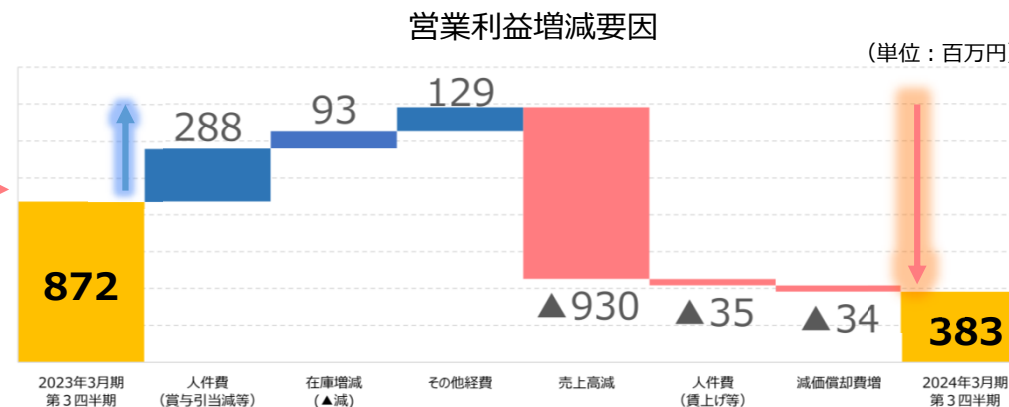
・今後の見通し	・中国経済の減速、中東等での紛争さらには国際社会の多極化等により、先行きの不確実性が高まっており、世界経済の成長減速が懸念される中で推移するものと思われる ・各市場で、在庫調整の長期化や設備投資の鈍化等による需要低迷が継続しているが、受注動向から、当第3四半期を需要の底として、緩やかながらも回復へと転換する見込み	
	半導体・電子部品市場	注力商品であるハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板が、データセンター等で使用される大容量HDDのサプライチェーン上での在庫調整から、当連結会計年度第3四半期まで低調に推移しているが、第4四半期は減少傾向に歯止めがかかるものと見込む
	自動車部品市場	E Vリレー用接点が、引き続き顧客の在庫調整が継続すると見込むが、一方で、電装部品溶接用の抵抗溶接用電極は、自動車生産の回復に伴い、堅調に推移する見込み
	衛生用品機器市場	N Tダイカッターが、第4四半期に一定の需要を見込む
	産業用機器・部品市場	液晶ディスプレイ製造や二次電池製造に用いられる超硬長尺製品の回復には時間を要するものと見込むが、一方で、第4四半期に納期が集中する商品もあり、一定の回復を見込む
・業績予想	個別業績において、営業利益予想が黒字転換する見込みとなること等から、当第3四半期の上振れを加味し、2023年11月9日に公表した連結及び個別の業績予想値を上方修正	

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動

- ・2023年12月18日付で、当社連結子会社「NIPPON TUNGSTEN DO BRASIL SOLUÇÕES DE CORTE LTDA.」の清算を結了し、連結範囲より除外

2. 連結業績の概要

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	(単位：百万円) 対前年比 増減額 増減率 (%)	
売上高	9,812	8,374	△1,438	△14.7
営業利益	872	383	△488	△56.0
経常利益	1,090	605	△484	△44.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	761	485	△275	△36.2



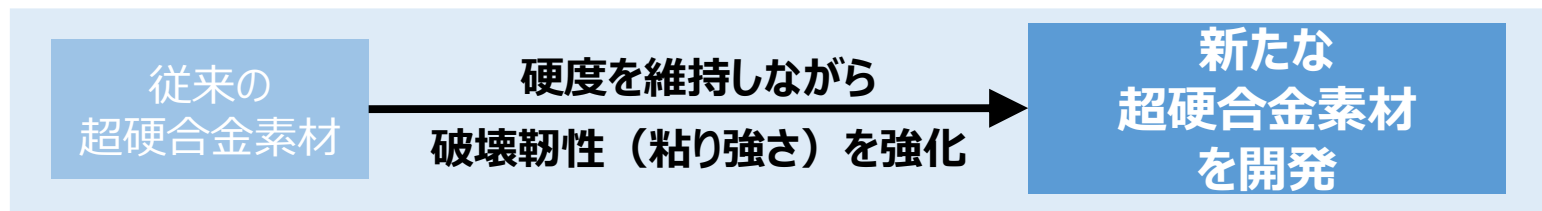
連結売上高	83億7千4百万円 (前年同四半期比14.7%減)	- 商品の値上げと戦略価格による拡販を事業環境に応じ柔軟に行う - 多品種少量生産に適した生産の自動化及び生産設備の多機能化への取組み等による生産性の向上等に取り組む - 新商品開発においては、医療における予防・検査、環境衛生などの分野への展開が期待される遠紫外LED光源ならびに高出力光源モジュールを開発し、事業化への取組みに注力。また、NTダイカッターの製品寿命を約3倍まで延ばす超硬合金素材を開発し、多用途への展開も視野に入れた拡販に注力 - 連結売上高は、前年同四半期比14.7%の減収。
営業利益	3億8千3百万円 (同 56.0%減)	円安による増収効果はあったものの、売上高が大きく減少したことや、当期に実施した賃上げに伴う人件費の増加、水素等の補助材料費の価格上昇及び生産性向上に向けた設備更新による減価償却費の増加等により、前年同四半期比56.0%の減益。
経常利益	6億5百万円 (同 44.5%減)	為替差益の増加等あったものの、営業利益が減少したことにより、前年同四半期比44.5%の減益。
親会社株主に帰属する四半期純利益	4億8千5百万円 (同 36.2%減)	清算した海外子会社の設備の一部及び投資有価証券の一部を売却し特別利益として計上したものの、海外子会社の清算に伴う為替換算調整勘定取崩損を特別損失として計上したこと及び経常利益の減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同四半期比36.2%の減益。

次ページ参照

直近のトピックス

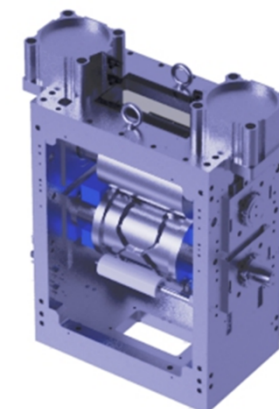
NTダイカッターの寿命を向上する新材料の開発 (2023年12月15日公表) NIPPON TUNGSTEN CO., LTD. 10

新材料の特徴



おむつなどの衛生用品製造設備の部品「NTダイカッター」の製品寿命
3倍以上（当社従来品比）

- ・価格は従来品と同程度に設定
- ・費用対効果の高い商品として提供



NTダイカッター

サステナビリティ 枯渇リスクの高い資源の有効活用

- 高吸水樹脂を含有した難加工性資材の切断への適用展開を積極的に進め、衛生材・サニタリー用品業界のサステナビリティに貢献していく
- 今回の新材料開発は、枯渇リスクのある資源の有効活用ができるため、サニタリー用品業界のみならず、耐食性・耐摩耗性が求められる用途やアプリケーションの探索、展開を積極的に進め、本新材料の適用拡大を図っていく

3. 主な経営指標

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期
売上高営業利益率	5.6	1.4	8.4	8.9	4.6
自己資本四半期純利益率（ROE）	4.7	3.6	6.8	7.0	4.2
総資産経常利益率（ROA）	4.0	2.2	6.3	6.7	3.6
1株当たり四半期純利益	98.37	77.20	146.20	157.57	100.35

← コロナ禍以前

前期まではコロナ禍収束後の反動増が続いたが、
当期に入り各市場の在庫調整の影響を受け減速

（注） 2024年1月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。
2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

4. セグメント別の状況

■ セグメント業績の概要

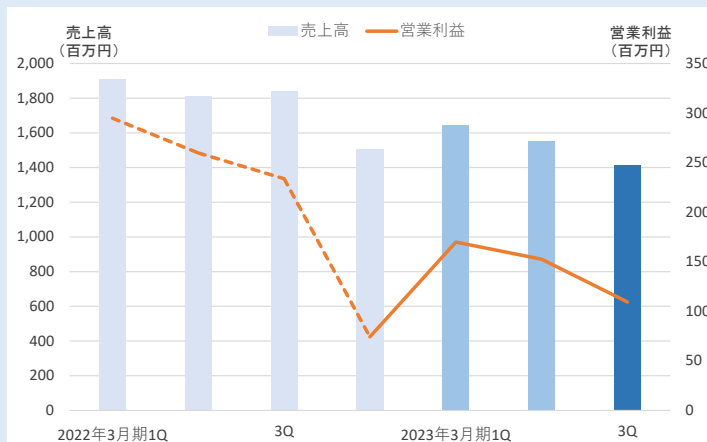
(単位：百万円)

		2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	対前年比	
				増減額	増減率 (%)
機械部品 事業	売上高	5,561	4,611	△950	△17.1
	営業利益	788	431	△356	△45.2
電機部品 事業	売上高	4,274	3,787	△487	△11.4
	営業利益	470	367	△102	△21.8
調整額	売上高	△23	△24	△0	—
	営業利益	△385	△415	△29	—
全社	売上高	9,812	8,374	△1,438	△14.7
	営業利益	872	383	△488	△56.0

機械部品事業、電機部品事業ともに
前年同四半期比 減収減益

機械部品事業

売上高・営業利益の四半期別推移



	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期
売上構成比	56.5%	54.9%
営業利益率	14.2%	9.4%

前年同四半期比

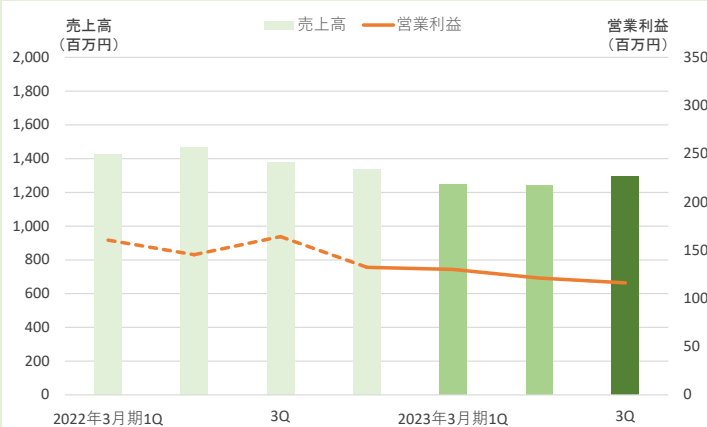
- ・売上高は、17.1%の減収
- ・営業利益は、45.2%の減益

四半期推移

- ・売上高は、半導体・電子部品市場が減少傾向であり、14億円台で推移
- ・営業利益は、半導体・電子部品市場での売上高減少の影響が大きく、営業利益率は10%を下回った

電機部品事業

売上高・営業利益の四半期別推移



	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期
売上構成比	43.5%	45.1%
営業利益率	11.0%	9.7%

前年同四半期比

- ・売上高は、11.4%の減収
- ・営業利益は、21.8%の減益

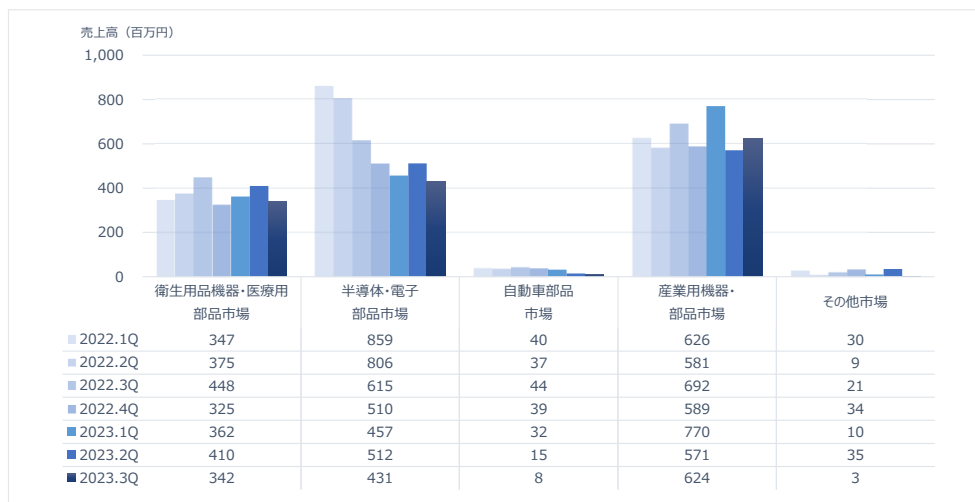
四半期推移

- ・売上高は、下降局面から上昇に転じ、12億円後半で推移
- ・営業利益は、緩やかに下降しており、営業利益率は、10%を下回りながら推移

4. セグメント別の状況

機械部品事業

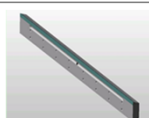
■ ターゲット市場別業績・主要商品の状況



NTダイカッター



HDD用
磁気ヘッド
基板



超硬長尺
製品
・二軸混練
押出機用の
金属部品

※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

ターゲット市場の主要な商品の状況（前年同四半期比）

■ 産業用機器・部品市場

塗布工具用として使用される超硬長尺製品

二次電池製造が盛んな中国において、安価な鉄合金による製品が主流となってきたことや、液晶ディスプレイ製造用途においても、需要の周期の谷間にあたっており、減収

二軸混練押出機用の金属部品

当連結会計年度の需要が下期に集中しており、需要は回復傾向であるものの、前年同期比では減収

その他の産業用装置において、上期に納期が集中した商品もあったことから、当市場としては増収

■ 半導体・電子部品市場

情報関連機器のハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板

データセンター等で使用される大容量HDDについて、エンドユーザーの在庫過多による需要調整が継続しており、大幅な減収

■ 衛生用品機器・医療用部品市場

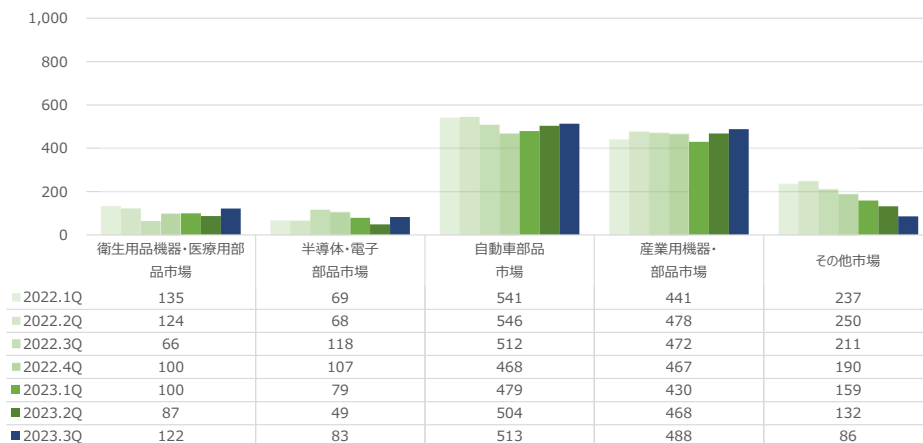
NTダイカッター

特に中国市場での需要が減少しており、減収

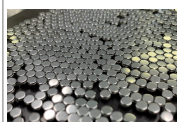
4. セグメント別の状況

電機部品事業

売上高（百万円）



医療関連
カテーテル用
タングステン
ワイヤー製品



EVリレー
用接点



抵抗溶接
電極



ブレーカー用
電気接点

ターゲット市場の主要な商品の状況（前年同四半期比）

■ 自動車部品市場

E Vリレー用接点

在庫調整が引き続き継続していることや、顧客の稼働調整等もあり、減収

電装部品溶接用の抵抗溶接用電極

自動車生産の回復に伴い、需要が増加傾向にあり、増収

■ 産業用機器・部品市場

産業用設備向けのブレーカー用電気接点

顧客の在庫積み増しによる生産調整が長期化していること等により、減収

■ 衛生用品機器・医療用部品市場

医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品

東南アジア地域などで需要回復が遅れているものの、北米地域では好調に推移し、増収

※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

5. 財務の状況（連結）

	2023年3月期	2024年3月期 第3四半期	(単位：百万円) 対前年比 増減額
総資産	16,807	16,893	86
負債	5,556	5,089	△466
純資産	11,251	11,803	552

主な経営指標

	2023年3月期	2024年3月期 第3四半期
自己資本比率（%）	66.9	69.8
1株当たり純資産（円）	2,324.12	2,434.85

	主な増加要因 (単位:百万円)	主な減少要因 (単位:百万円)
総資産 168億9千3百万円 (前連結会計年度末比8千6百万円増)	売上債権 +168 有形固定資産 +305 投資有価証券 +242	現金及び預金 △629
負債 50億8千9百万円 (同4億6千6百万円減)	繰延税金負債 +51	仕入債務 △403 賞与引当金 △249
純資産 118億3百万円 (同5億5千2百万円増)	利益剰余金 +219 その他有価証券評価差額金 +129 為替換算調整勘定 +182	—

6. 今後の見通し

今後の見通し

・今後の見通し		・中国経済の減速、中東等での紛争さらには国際社会の多極化等により、先行きの不確実性が高まっており、世界経済の成長減速が懸念される中で推移するものと思われる ・各市場で、在庫調整の長期化や設備投資の鈍化等による需要低迷が継続しておりますが、受注動向から、当第3四半期を需要の底として、緩やかながらも回復へと転換する見込み
	半導体・電子部品市場	注力商品であるハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板が、データセンター等で使用される大容量HDDのサプライチェーン上での在庫調整から、当連結会計年度第3四半期まで低調に推移しているが、第4四半期は減少傾向に歯止めがかかるものと見込む
	自動車部品市場	EVリレー用接点が、引き続き顧客の在庫調整が継続すると見込むが、一方で、電装部品溶接用の抵抗溶接用電極は、自動車生産の回復に伴い、堅調に推移する見込み
	衛生用品機器市場	NTダイカッターが、第4四半期に一定の需要を見込む
	産業用機器・部品市場	液晶ディスプレイ製造や二次電池製造に用いられる超硬長尺製品の回復には時間を要するものと見込むが、一方で、第4四半期に納期が集中する商品もあり、一定の回復を見込む

6. 今後の見通し

2024年3月期の通期業績予想

・個別業績において、営業利益予想が黒字転換する見込みとなること等から、当第3四半期の上振れを加味し、2023年11月9日に公表した連結及び個別の業績予想値を上方修正

修正後の2024年3月期業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期連結業績予想	11,400	△9.9	440	△52.5	720	△41.3	460	△40.1	95.10
通期個別業績予想	10,200	△11.6	110	△82.0	530	△52.6	当期純利益		80.63
							390	△47.4	

（注） 1. 2024年1月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり当期純利益は株式分割後の金額を算定しております。
2. 業績予想修正後の予想配当性向は51.5%であります。

2024年3月期の期末配当金予想

・期末配当金予想の1株当たり25円に変更はなし。

（注） 2024年1月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、期末配当金予想額は株式分割後の金額となります。



参考資料

1. 業績の推移（連結）

経営成績（連結）

（単位：百万円）

区分	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期
売上高	8,790	7,182	8,837	9,812	8,374
営業利益	490	97	744	872	383
経常利益	654	344	962	1,090	605
親会社株主に帰属する四半期純利益	479	372	704	761	485
純資産	10,303	10,243	10,472	11,336	11,803
総資産	16,539	14,974	15,755	16,970	16,893

経営指標（連結）

区分	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期
売上高営業利益率 (%)	5.6	1.4	8.4	8.9	4.6
自己資本比率 (%)	62.2	68.3	66.4	66.7	69.8
1株当たり純資産（BPS） (円)	2,109.07	2,124.05	2,168.93	2,341.52	2,434.85

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。